

# テスト飛行結果

# 最高値は中台の85.5ホン

# 98%がうるさい

ボーイング747LR機で行われた成田空港の騒音テスト飛行の結果、中台(第一種騒音区域)で八五・五ホン、飛行直下の遠山で八二ホン、姥山で八〇・五ホンとそれぞれ高い騒音値を示しました。また、町内各世帯の協力で行った電波障害アンケート調査結果(回収率30%)では七三・八%の方がテレビの画面に影響があったということです。飛行コース直下(中台、遠山、姥山)を対象に行った騒音に対するアンケートでは九八%が「うるさい」と回答しております。

町議会議員、町空港関連問題対策委員、町職員と合わせて延べ一三四名が参加し、大がかりな測定と調査が行われました。

## 疑問残る

## 飛行方式

## 町をあげて

## 「開港反対」も……

今回のテスト飛行は、八月七八・十日で延べ一五回の飛行が当初計画されましたが、八日は悪天候のため中止になり二日間で十一飛行が行われました。町では、このテストに際し、町内の要所三か所に固定測定点をきめ、この外に移動測定班二組と三〇か所の測定点を設定しました。テスト期間中は、町長をはじめ

飛行は、空港から太平洋に向っての離陸が四回。太平洋側からの着陸が四回。横芝・松尾・光町上空の通過が七回で、騒音最高値を記録した第一回目の着陸では中台(秋鹿隆さん宅)固定点で八五・五、遠山(五木田正吉さん宅)固定点八〇、姥山(伊藤利雄さん宅)固定点七九・五、角田(伊藤仁さん宅)移動で七三ホンを記録。同じく離陸時は中台(固定)で七八・五、遠山(固定)七六、姥山(固定)七五・一、桜前(移動)七九、牛熊(移動)六七ホンと記録されました。この数値を見てわかるように、離陸方式が急上昇方式のため着陸時の方が高騒音を記録しました。この外、中

これらの調査結果と騒音体験をもとに、去る九月二六日には空港関連問題対策委員会が、二九日には空港対策議員協議会が開かれ、騒音対策のために交付される周辺対策交付金の配分は飛行直下重点に。回答期日を明示するように。優良企業を誘致して町の発展を図る。などの要望に対する意見が出されました。二十六日の対策委員会では町長は「町の要望を満たすべくしなければ町をあげて反対」という空港問題に対する強い姿勢を示しました。

公団、千葉県に要望して来た一八項目を六項目に絞り最重点要望事項として再度要望することになりました。

### 最重点要望事項

運輸省・公団に対するもの

- 一、空港から町を経由し、総武本線と連繫を保ち、九十九里海岸まで鉄道を延伸する。
- 二、空港からBラン直下を通り海岸線まで直通道路を新設、また空港関連道路と接続する開発道路を新設。(Aラン直下周辺)
- 三、遠山・姥山及びこれに準ずる区域を民防対象とし、工事費は全額公団負担とする。
- 四、周辺対策交付金の交付基準を騒音下地域最重点に配分する。

### 県に対するもの

- 一、騒音区域とその周辺地域の産業振興に対する大幅助成と町の発展策を講ずる(農道舗装、灌漑施設整備、施設園芸整備事業、空港関連企業の誘致)
- 二、騒音区域の立地規制に当たって地元住民と町の意見を充分反映させる。以上が要望の概要ですが町は町民の皆さんと共に、これらの要望事項に対して関係当局の誠意ある回答を期待しております。

## 支給月が 変わります

今まで福祉年金は、一、五、九月の各期月に支給されていましたが、次回から一ヶ月早く、十二、四月、八月の各月に支給されることになりました。

また、支給開始日についても、各期月の十一日から開始することになりましたので注

## 福祉年金

意して下さい。

なお、十二月期分については、希望により、十一月からでも受給することができます

